

CASBEE®広島

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE 広島 2016年版

使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮)東平塚町ビル 新築工事	階数	地上15F
建設地	広島市中区東平塚町4-9、4-24、4-	構造	SRC造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	110 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	基本設計段階評価
竣工年	予定	評価の実施日	2017年9月26日
敷地面積	410 m ²	作成者	臼井 千尋
建築面積	280 m ²	確認日	2017年9月26日
延床面積	3,834 m ²	確認者	定森 淳一

図を貼
シートは
きは
除してください

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO ₂ 温暖化影響チャート	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)
<p>BEE = 0.8</p> <p>S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★</p>	<p>☆☆☆☆☆</p> <p>標準計算</p> <p>このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです</p>	

2-4 中項目の評価(バーチャート)		
<p>Q 環境品質</p> <p>Q のスコア = 2.4</p>		
<p>Q1 室内環境</p> <p>Q1のスコア= 2.8</p>	<p>Q2 サービス性能</p> <p>Q2のスコア= 2.7</p>	<p>Q3 室外環境(敷地内)</p> <p>Q3のスコア= 1.5</p>
<p>LR 環境負荷低減性</p> <p>LR のスコア = 3.2</p>		
<p>LR1 エネルギー</p> <p>LR1のスコア= 3.6</p>	<p>LR2 資源・マテリアル</p> <p>LR2のスコア= 3.1</p>	<p>LR3 敷地外環境</p> <p>LR3のスコア= 2.9</p>

3 広島市の重点項目		
<p>重点項目の総平均スコア = 3.0</p>		
<p>「地球温暖化対策」の推進</p> <p>スコア = 3.4</p> <p>設計の計画し特段に配慮した事項 //LED照明を採用し、省エネルギー性能に配慮 // 躯体材料(杭)に高炉セメントB種を使用し、資源・マテリアル対策に配慮 / ライフサイクルCO₂排出量7.8%に抑制し、地球温暖化抑制に努める。</p>	<p>「ヒートアイランド対策」の推進</p> <p>スコア = 1.6</p> <p>設計の計画し特段に配慮した事項 /</p>	<p>「長寿命化対策」の推進</p> <p>スコア = 3.0</p> <p>設計の計画し特段に配慮した事項 内装材は、耐用年数の長い材料を採用し、耐用性の向上に努める /</p>

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される